

# 新庄河川事務所長表彰

工 事 名	最上川中流作の巻地区河道掘削工事
工 期	令和 3年 8月 1日 ~ 令和 4年 3月 25日
受注者名	株式会社 柿崎工務所
工事概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河道掘削工 V=22,600m<sup>3</sup> ・河道掘削工(ICT) V=7,500m<sup>3</sup></li> <li>・残土処理工 V=30,100m<sup>3</sup> ・堤防養生工 1式</li> <li>・築堤盛土工(ICT) V=11,160m<sup>3</sup></li> <li>・仮設工 1式</li> </ul>

## 創意工夫、克服した困難な課題

・掘削土砂の搬出先が10箇所あり、搬出先の希望に沿うため、先行掘削し、水切り後に搬出した。一日4箇所の搬出でダンプの確保に苦労したが搬出先との連絡調整を密にとり運搬を実施した。

仮設工事用道路は、一本道であり退避場を100mに1箇所設置し退避ロスを極力なくした。また、積込箇所に、掘削土を利用しダンプの旋回場と待機場を広く取り近隣退避場や道路上で待機することがないようにした。

・施工完了後に河川水位上昇で出来形不足による再施工を防止するため、ICT施工履歴データを活用し施工管理を実施した。



・築堤盛土工に使用する土砂は掘削土砂の流用で冬季の施工であるため、含水比の上昇を抑える必要があるため、掘削土の水切りとブルーシート養生を行うことにより最適な含水比で盛土を確実に実施した。

